

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	ECO ライフコース	対象学年	2年
講義日	令和 8 年 7 月 9 日( 木 )		
テーマ	激甚化する自然災害と防災・減災		
講 師	髯 本 格 (かがく教育研究所・元神戸親和女子大学教授)		
講義内容			
<p>1 時間目 六甲山地周辺の地質・地形と気象災害・土砂災害</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最近数年間の日本列島での自然災害(気象災害、土砂災害)を振り返ります。</li> <li>・六甲山地周辺(阪神間・神戸)での過去の水害(昭和 13 年、昭和 42 年など)とその後の対策について考えます。</li> <li>・六甲山地周辺の地形・地質をふまえて、今後起こる可能性のある土砂災害と対策・防災について考えます。</li> </ul> <p>2 時間目 兵庫県南部地震と六甲変動、南海トラフ地震への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県南部地震とは何だったのか? なぜ、阪神・淡路大震災になったのかを考えます。</li> <li>・六甲変動の一コマとしての兵庫県南部地震について考察します。</li> <li>・なぜ、地震が起こるのか? 地震の活動期に入った日本列島について考えます。</li> <li>・東日本大震災とその教訓について考えます。</li> <li>・必ず起こると予想される南海トラフ巨大地震と防災対策について考えます。</li> </ul>			
講師からのメッセージ			

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専攻	ECO ライフコース	対象学年	2年
講義日	令和8年5月7日(木)		
テーマ	「自然共生 守りたい神戸の自然と生きものたち」		
講師	兵庫・水辺ネットワーク、里地・里山の保全推進協議会 大嶋 範行		
講義内容	<p>神戸市は、人口150万人の大都市ですが、波穏やかな瀬戸内海に面し、明るく開けた市街地の背後には、標高932mの六甲山が聳え、街中からもその緑豊かな山並みを眺めることができます。また、三宮から北にトンネルを抜けると、そこには豊かな田園地帯が広がります。このように、神戸市内には多種多様な自然環境が存在します。</p> <p>この神戸市には約8,000種の動植物(哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、汽水・淡水産魚類、昆虫類、淡水・汽水産甲殻類、陸産・水棲貝類及び維管束植物)が暮らしています。これは150万人が住む大都市としては、非常に高い数値となっており、それは海あり山ありの多種多様な自然環境に恵まれた神戸ならではの特徴と言えます。</p> <p>しかし、この8,000種のうちの実に12%にあたる932種は絶滅が危惧される生きものとして、「神戸版レッドデータ2020」には記載されています。</p> <p>この講義では、これらの自然環境を具体的に紹介し、併せてそこに暮らす多種多様な生きものたちについても解説します。しかし、近年ではこの豊かな生態系にも異変が起きています。これは、神戸に限ったことではありませんが、かつては普通に見られた生きものまでが、私たちのまわりから姿を消しつつあります。その原因としては、私たち人間による環境の改変、地球温暖化、化学物質による生態系破壊などが考えられます。</p> <p>ここでは、絶滅危惧種の約半数が暮らすとされている里地・里山にスポットを当てて、特に多種多様な生きものが見られる里地(農村地域)を中心に、今どんな問題が起こっているのかを、具体的に解説します。また、そこで行われている保全活動についても、詳しく紹介します。</p> <p>最後に、外来種問題についても解説します。外国から持ち込まれた動植物が、日本の生態系に甚大な影響(被害)を与えており、その現状と駆除活動の実態についても、紹介します。</p>		
講師からのメッセージ	<p>私たちのまわりから、いろいろな生きものが姿を消しつつあります。これは、自然からの恵みを受けて暮らしている私たちにとっても、きわめて深刻な問題と言わざるを得ません。私たちが豊かな暮らしを続けるためにも、生物多様性の保全が重要な課題となっています。</p>		